

内 科 学

1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 伊 藤 理 (代理)
【科目担当者】 教授(特任) 高 木 潤 子

2 教育目標

(1) ねらい

学生は、体内における内分泌代謝のシステムおよび、臨床遺伝学を理解し、内分泌代謝疾患の病態を、分子生物学的および生物学的、生理学的、解剖学的、また組織学的手法を用いて、研究できる技術と思考方法を習得できる。

(2) 学修の到達目標

- ① 内分泌代謝の機序を、総論的に、かつ各論的に説明する知識を習得できる。
- ② 臨床遺伝学の概要を、内分泌代謝疾患の研究に応用する知識を習得できる。
- ③ スタッフと共に内分泌代謝疾患の症例の実習を受け、臨床的問題点を挙げ、解決するための思考行程を習得できる。
- ④ スタッフと協力して臨床研究に参加し、勉強や研究の成果を表現できる技術を習得できる。
- ⑤ Radioimmunoassay を含む各種臨床検査、DNA 抽出から sequencing による変異検出の技術を習得できる。

3 授業内容

【講義】	内分泌・代謝学を中心とした、内科学領域の各種疾患の病因、病態、診断、治療及び臨床遺伝に関する講義を行い、今後の内分泌学の展望を提示する。
【演習】	内分泌領域の症例の診断、治療の実習、学内外における発表を行う。
【実験研究】	分子生物学的、臨床検査学的研究を行う。内分泌代謝疾患に関する、病態解明に寄与する目的の研究を行う。

4 成績評価の方法・基準

内分泌代謝疾患の診断・治療に必要な、知識と技術を修得しており、症例報告ができる。
内分泌代謝疾患の研究に必要な、知識と技術を習得しており、研究成果を報告できる。
研究成果を、関連学会および関連雑誌にて発表できる。

5 教科書・参考図書

Endocrinology, 7th ed. J.L.Jameson & L.J.De Groot 2016.

The Cell 細胞の分子生物学第6版 Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 2017.

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前に, テキストの当該箇所に通すために, 週 7 時間程度の時間を要する.
発表の準備のための時間を, 適時要する.

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

講義, 実習, 実験研究を通じて, 内分泌代謝学における診断治療を実践し, かつ臨床における課題に取り組み, 内分泌代謝疾患の解明に還元できる成果を挙げる事を, 課程修了の方針とする. また, その成果を関連雑誌に掲載する事を, 学位授与の方針とする.

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポートは, 評価の後に返却し, 必要時には再提出を求める. 発表は, その場においてスタッフにより評価し, 指導する.

9 履修上の留意点

研究方法の取得と, 研究を進める思考の過程に, 重点を置く.

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授(特任)	高木潤子	月	10:00~11:30 (第1月曜除く)	D棟2階医局	内線 23511
		金	10:00~11:30		